



# 働き続ける人になる

岐阜特別支援学校 進路だより 令和5年11月

## 小学部の進路学習

小学部では、校外学習をとおして公共施設の利用の仕方について学習しました。4年生では10月に岐阜バスに乗って柳ヶ瀬へ出かけました。マナーを守って公共交通機関や施設を使えるように、学校で繰り返し練習をしました。当日、一般のお客さんがいる場であってもどの子も落ち着いて練習の成果を発揮しました。特に、岐阜バスの時に、とても静かに乗れ、降車時は自分で運賃を払いました。大きな声で「ありがとうございました。」とあいさつもできました。ツバメヤでは、順番を守って、自分の買いたい商品を見つけました。店員さんとスムーズにやり取りをし、自分で買い物ができました。

自分の力でできることがどんどん増えています。



## 中学部の進路学習



中学部では、11月22・23日に行われるふれあいフェスタでの販売会に向けて、目下製品づくりの真っ最中です。

6月から作業学習に合流した1年生も作業に慣れ、2・3年生と共に黙々と担当の作業に取り組んでいます。フェスタに向けた作業学習では、一人ひとりが自分のもつ力を伸ばしたり、できる作業の幅を拡げたりして製品づくりに取り組み、中学部一丸となって頑張っています。フェスタ当日は、これまでの作業学習の取り組みの成果として、自信をもって製品を販売します。製品の感想を伝えていただいたり、質問をしたりしていただくとありがたいです。

## 高等部の進路学習

6月の第1回就業体験に続き、10月も第2回就業体験に取り組みました。1年生は校内で、仲間と働くための基礎を学び、2、3年生は一人で校外へ出向き、二週間の実習に臨みました。農場での植物管理、スーパーでの袋詰めや品出し、飲食店での接客、工場での生地出しなど、様々な業種を体験しました。作業に集中して取り組む姿、自分から挨拶する姿、分からないことを相談したり確認したりする姿、教わったことを忘れないようメモを取る姿など、学校生活で大切にしていることを体験先でも発揮することができました。実習後は、就業体験を通して成長できたことや、今後の課題を振り返り、将来、働き続ける人になるために、学校生活にどう生かしていくかを考えることができました。

<校内実習>  
取扱説明書の袋入れ



<校外実習>  
LECIP

